

南無阿弥陀仏は
私のいのち



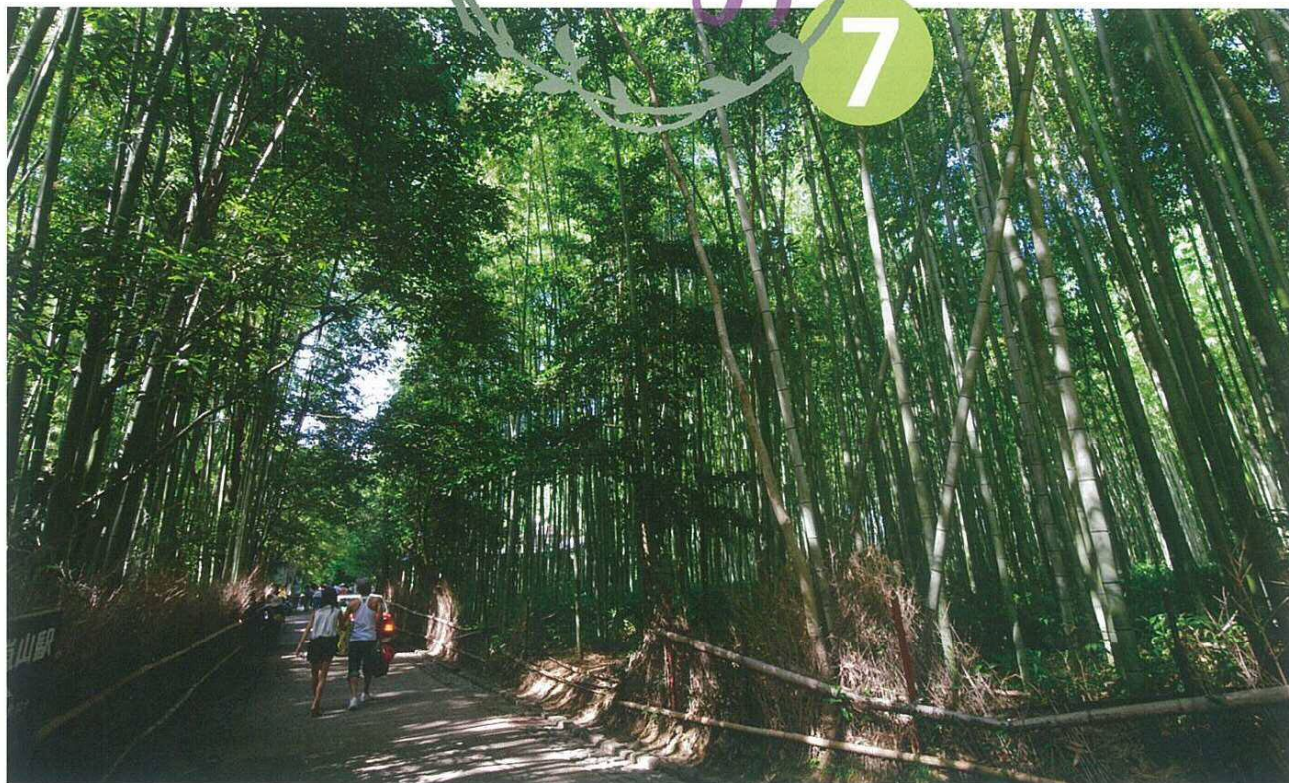
〒110-0012 東京都台東区竜泉 1-20-19

発行所 真宗 佛光寺派 西徳寺

TEL 03-3875-3351 FAX 03-3875-6796

<http://saitokuji.tobihiro.jp/>

印刷 日生印刷(株) 03-6863-3263



迷惑をかける

「エンディングノート」をご存じだろうか。これは自身の死に備えて、主に遺族への負担を減らすために(葬儀への希望や延命治療に対する考え方など)書かれたノートである。最近では、今年一月の相続税法改正に伴い、相続に対するの考えを書く人が増加しているという。

こうした背景には、少しでも周りに迷惑をかけたくないという願う人が増えたからだといわれる。元氣なうちに相続や考えを書き残して、誰にも迷惑のかからないような準備をしたいと願う。しかし、本当にノートで迷惑がかからないように出来るのだろうか。

いうまでもないが、人生は自分一人で作るものではない。両親を縁としてこの世に誕生し、食事も全て誰かの手によって支えられているように、私は周りの人によって育まれている。いくら「迷惑をかけるないように」と願っても、これからも様々な方々に迷惑をかけて生きていくのである。

死への備えはとても大切である。その行いを通して、今までどうやって生きてきたのかを問われ続けていく。ノートはこのようなことを呼びかけているのではないだろうか。

(高橋 淳記)



ほとばしる「浪花節」

玉川奈々福 浪曲会

「浪曲って何だろう?」こう尋ねられたとき、答えられなくて困ってしまいました。

そんな中、この度仏教青年会主催のもとに浪曲会が実現することとなりました。演じていただくのは「聞く人も参加する浪曲を」をモットーとした玉川奈々福さんです。今回は、『仙台の鬼夫婦』という演目を披露して頂きます。

仙台伊達藩六十二万石の家老職で三千石。砂子三十郎という人の一人娘で名をお貞。仙台一の器量よし。この美女が、なんと無役で七百石をいただく、仙台一の放蕩者、井伊直人にぞっこん惚れてしまった。押しかけるように女房になったのはいいが、直人の道楽癖はまったくなおらない。それにさからわず、賭けごとの資金を用意するお貞であったが、ある日、直人に一つの提案をする。

「旦那様には賭け碁というお楽しみがございますが、貞には楽しみがございません。本日より金子一両差し上げます前に、私と立会いをしてくださいませ」……さて、直人はこれをどう受けるか???

初めての方やお子様もぜひ一度、浪曲を体感しましょう。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

記

【日時】平成27年7月28日(火)

18:30 開場

19:00 開演

【場所】西徳寺 本堂

【演目】「仙台の鬼夫婦」

※先着順により、定員120名とさせていただきます。



(撮影者・森幸一氏)

玉川 奈々福 (たまがわ・ななふく)

神奈川県横浜市出身。平成7年二代目玉川福太郎に曲師として入門。師のすすめで平成13年より浪曲師としても活動。平成18年名披露目して「奈々福」。様々な浪曲企画のプロデュース、他芸能とのコラボレーションを積極的に行う。

※お問い合わせは西徳寺 木村か高橋(03-3875-3351)までご連絡ください。

親鸞さんのことば

「十方微塵世界の
念仏の衆生をみそなわし
攝取してすてざれば
阿弥陀となづけたてまつる」

松井憲一

仏教は、人間だけでなく、動物も植物も、そして山河大地までも運命共同体であると教えています。ここに「十方微塵世界の」という十方は、東・西・南・北の四方と、東南・西南・東北・西北の四維と、上・下の十の方角のことで、宇宙的な世界観をいいます。微塵は、細かい塵のことで、目で見るもつとも小さいものことです。その意味で、十方微塵世界とは、宇宙までも視野にいれた大きな眼と、微塵というもつとも小さなものも見逃さない眼で見た、阿弥陀仏のまなざしのいきとどいた世界をあわします。

それで、「十方微塵世界の、念仏の

衆生をみそなわし」と、阿弥陀仏のまなざしは、十方微塵世界にある、念仏する衆生を一人残さずいつも見ておられるといわれます。このおおいなるまなざしに遇うと、念仏もうしながら、地球上に国境という線引きをし、隣の家との境界に杭を立て、自と他、男と女、老人と若者、健康者と障害者などの区別をしていることの愚かさが教えられます。そして、いつも自分にとって都合の悪い人を排除していくという、悲しい世界を作っていることが見えてきます。

親鸞聖人は、先輩の書物を解説して、「この如来、微塵世界にみちみちたまえり。すなわち、一切群生海の心にみちたまえるなり（『唯信鈔文意』）」と、どのような人の心にも、如来が現れるといわれます。ダウン症の赤ちゃんがいるお母さんは、友達から「障害のある子はね、本当はすごく高尚な魂をもった人なんだから、地球になんて生まれる必要ないんだよ（地球は知的生命体がいる星としては最低のレベルなのだそうです。皆、自分本位で）。でも皆に気付きを与えるために、あえて、生まれてくれている」と、いわれたそうです。「この如来、微塵世界にみちみち

たまえり。すなわち、一切群生海の心にみちたまえるなり」という阿弥陀仏のまなざしは、「やかましい子を産め働け 輝け」という自分本位の見方では、気づくことはありません。あらゆる知識を集めて気づくとしても、自己本位に解決はありません。この自己本位に解決なしという全身の懺悔に、「念仏の衆生をみそなわし、攝取してすてざれば、阿弥陀となづけたてまつる」という、阿弥陀仏との出遇いがあります。この阿弥陀仏のはたらきによる懺悔の感動が、お念仏なのです。

親鸞聖人は、阿弥陀仏のはたらきをあらわす攝取について、「セツハ、モノノニグルヲオワエトルナリ。セツハ、オサメトル、シュハ、ムカエトルナリ」と左仮名で説明されます。モノとは、われわれのことです。自分本位のわれわれは、自分本位であったと気づくことがあっても、気づくだけまだましだと自分を認め、最後には居直り居座ります。

聖人は、阿弥陀仏のはたらきの中にありながら、居直り居座るわれわれを、阿弥陀仏のはたらきから、逃げよう逃げようとする者だといわれます。そして、阿弥陀仏のはたら

きは、逃げるからわれわれを捨てるのではなく、逃げるからこそ追っかけて、おさめとるといわれます。こうして聖人は、阿弥陀仏のはたらきは、われらをどこまでも真実から逃げる者であると目覚めさせて、追っかけてまで迎え取るはたらきであると、頷かれました。われらは、阿弥陀に向かう存在ではないのです。いつも阿弥陀仏から逃げる自分であったと教えられて、お念仏し続けていく、それが阿弥陀仏に攝取されつつあることなのです。



山門の言葉

聴くとは動けなることだ

濱口 竜介
映画監督36歳



砂連尾理の「愛のレッスン」
アフタートークでの発言を朝
日新聞「折々のことば」の欄で
鷺田清一氏が紹介していた。
その中に「聴くとは、これまで
そのようなものがあるとすら
思っていなかったような他人
の心の疼き、心の震えに触れて、身じろぎでなくな
ることだ。そしてそれにとことん身を晒すこと」と
あった。

親鸞聖人が著された『一念多念文意』に經典の言葉
として「諸有衆生、聞其名号信心歡喜」をお引きになり、
「きく」というのは、本願をききてうたがうところなきを
「聞」というなり。また、きくというは信心をあらわす
御のりなり」とお示しになっている。まさしく聴くこ
との徹底した深さだ。ところで聴いたら聴いて自分の
能力で分かるように置き換えてしまう。先師は「意巧
に聴くと」つまり巧みに置き換えて自分なりに納得し
てしまいがちなあり方を鋭く指摘されてあ。さらに
經典には、人間の本质は疑城と押さえてある、自我と
いう築きあげた頑固さが城に例えられ臨終の一念に
至るまで消えず衰えず、聴けない存在だという。日頃
生きている現場においても身近な人であればあるほ
ど聴くことのずれがおびたしいではないだろうか。

(大谷 義博 記)



5月16日	定例聞法会	5月26日	仏教青年会『歎異抄』に聞く 講師 宗 正元師
	混声合唱団「エコー」練習	5月27日・28日	宗祖忌
5月17日	城南ブロック会総会・聞法会 (大井町きゅりあん 参加者23名)	6月4日	評議員会役員会
5月19日	『唯信鈔』に聞く(第13回) 講師 宗 正元師	6月6日・7日	仏教青年会研修旅行 (山梨方面 参加者10名)
5月20日	婦人会聞法会「釈尊伝」に聞く	6月7日・8日	中興忌
5月21日・22日	五ブロック主催旅行会 (信州方面 参加者30名)	6月9日	総代会
5月23日	同行会「現代の聖典」に聞く 法話 山崎 哲	6月13日	社交ダンス練習会 混声合唱団「エコー」練習 同行会「現代の聖典」に聞く 法話 大橋 伊知郎
5月24日	城西ブロック会総会・聞法会 (中野商工会館 参加者15名)	6月14日	城北ブロック会総会・聞法会 (川口リリア 参加者25名)

盂蘭盆会案内

祖先から伝えられてきた大切な仏事、盂蘭盆法要、略してお盆法要をお勤めいたします。その時必ずといっていいほど、送り火、迎え火の意味をたずねられます。私達の長年の民間行事ですから、土着に染みこんでいて簡単には否定できませんが、そのことよりも、先だっ
ていかれた方の生前をどのように頂いていくのか。よく知られている秋川雅史さんの千の風になつての歌詞、「私のお墓の前で泣かないでください、そこに私はいません。眠ってなんかいません。千の風になつて、千の風になつてあの大きな空を吹きわたっています。秋には光になつて畑に降りそそぐ冬はダイヤのようにきらめく雪になつてあなたを目覚めさせる。夜は星になつてあなたを見守る」を思いださせられました。送り火や迎え火、靈魂云々ではなく、これまで深く関わってきた方とのいのちとのいのちとの出会いこそ、明日へ踏み出すいのちの第一歩となるのではないのでしょうか。お盆の語源は「うらばんな」音写して「盂蘭盆」意味は逆さ吊りと言います。先だって往かれた人を私が供養しているのか、亡き方から支えられ護られ生かされているのか。私の判断が主であれば、それこそ逆さまだと教えられます。お盆の仏事こそ聞法のご縁にしていきたいと思います。

えこお志お礼

ご浄財を頂戴いたしましてありがとうございます。
ご芳名の掲載をもってお礼とさせていただきます。

岡山県 正覚寺 様
三重県 東光寺 様
大阪府 最勝寺 様

北区 小山 幹夫 様
台東区 杉平 光司 様
大阪府 脇阪 義幸 様
練馬区 富田 昭 様
中野区 霜鳥 宮子 様

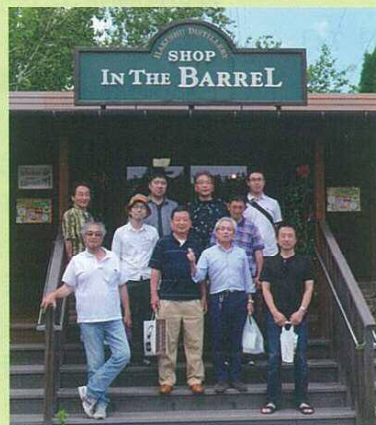


青年会 研修旅行

6月6日～7日に総勢
10名のもと、仏教青年会
研修旅行を開催しました。

今回は山梨県の石和温泉付近の
他に、サントリー^{はくしゅう}白州蒸留所を見学しまし

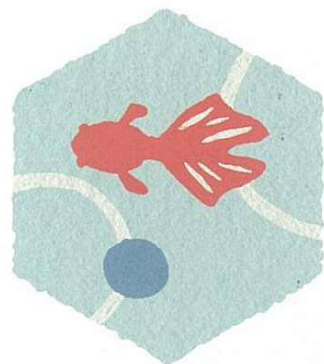
た。白州蒸留所は、1973年にサントリー二代目社長
佐治敬三氏によって開設され、世界でも珍しく高地にあ
る蒸留所です。参加者の皆様はウイスキーの歴史や製造
方法を学ぶ一方、記念写真を撮ったり味わったりと、楽
しい時間を過ごされました。（高橋 淳 記）



掲示板

平成27年7月

- 4日(土) 午後1時 社交ダンス練習会
 午後3時半 混声合唱団「エコー」練習
 午後6時 同行会「現代の聖典」に聞く 法話 高橋淳
- 13日(月)～16日(木) 孟蘭盆会
 (10日よりお盆体制になり、新盆を中心にお宅にお参りさせていただきます)
- 18日(土) 午後1時 社交ダンス練習会
 午後3時半 混声合唱団「エコー」練習
- 22日(水) 午後1時 婦人会聞法会
- 26日(日) 午後1時半 中央ブロック会聞法会(西徳寺)
- 28日(火) 午後7時 仏教青年会主催「玉川奈々福浪曲会」



城西ブロック会 総会報告

去る5月24日、中野商工会館において平成27年度城西ブロック会総会・聞法会を開催しました。新規の方(3名)を含めて参加者15名によって事業報告・事業計画、並びに会計報告・予算案が承認され、27年度の活動方針が決定されました。

聞法会では岸本住職から、南無阿弥陀仏の教えとは煩惱を身に具えたまま涅槃を得る道であり、それは本願のみ教えを聞き続けていくことで、凡夫の身を忘れて生きている自分に気づかされ、煩惱がさわりにならないのだと語られました。

懇親会は場所を「炙り谷」移して開かれ、聞法会に対する質問や意見を多数いただき、お互いに意見交換をするなど、大変有意義な時間を過ごすことが出来ました。

次回は**11月15日(日)、場所は中野商工会館**です。大勢のご参加、お待ちしております。

(木村主任 記)



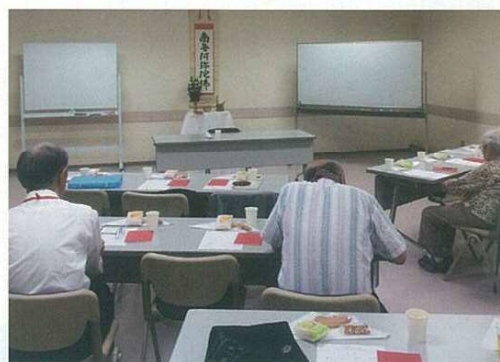
城南ブロック会総会・聞法会

去る5月17日(日)、大田区・大井町きゅりあんにて、総会・聞法会を開催し23名の方にご参加頂きました。

総会では、昨年度の活動と新年度の予定等について報告申し上げ、今後の活動が円滑に進むように皆様にご審議頂きました。

次回は**10月25日(日)午後2時、三茶しやれな**あどにて聞法会を開催致しますので、お誘い合わせの上、是非ご参加下さい。

(大橋 伊知郎 記)



編集後記

朝顔は奈良時代末期に、遣唐使が薬用種子として持ち帰ったのが最初であるといわれています。はじめは薬草園に植えられていましたが、やがて観賞用としても好まれるようになり、江戸時代の園芸ブームにより、多くの園芸品種が生まれたそうです。

7月6～8日の三日間、台東区・入谷で恒例の「朝顔市」が開催されます。東京は今月、お盆を迎えますが、ご先祖の仏縁をいただき、お念仏にふれさせていただく大切な機縁です。ご参詣をお待ちしております。

(主任 木村 記)

西徳寺ホームページアドレス：

HP <http://saitokuji.tobihiro.jp/>

ゆうちょ銀行お振り込み口座 00120-0-80670 名義 西徳寺

※「えこお」に対してのご意見・ご感想をお寄せ下さい。
(メールでも結構です)

✉ saitokuji@ce.wakwak.com